

山形市少年自然の家の新しいあり方に係る サウンディング型市場調査

説明・見学会

令和5年7月13日（木）

山形市少年自然の家本館 研修室

山形市役所 企画調整部 企画調整課

次第・市側出席者

● 次第

- 1 山形市挨拶
- 2 市側出席者紹介
- 3 説明
 - ① 山形市の概要
 - ② 山形市少年自然の家の概要
 - ③ サウンディング型市場調査
 - ④ 参考情報（周辺施設）
- 4 現地見学

1 山形市の概要

(1) 市の概要

- 位置 山形盆地の東南部（宮城県仙台市などに隣接）
- 面積 381.58km²
- 人口 242,924人（令和5年4月1日推計人口）
- 世帯数 103,616戸
- 市制施行 明治22年4月（市制施行134周年）
- 気象 昭和8年7月25日 40.8℃を記録
（平成19年8月15日まで日本最高気温）
- 市の木 ナナカマド
- 市の花 ベニバナ

●祭り、イベント

東北の夏祭りの一つ「山形花笠まつり」や、直径6.5mの大鍋で芋煮を作る「日本一の芋煮会」等の祭り、イベントが数多く開催されています。

●やまがたの食文化

山形市には、さくらんぼ、ラ・フランス、ぶどう、りんごなどの果物や芋煮、青菜（せいさい）漬け、だし、どんどん焼き、玉こんにゃく、そば、冷やしラーメンなどの食文化が育まれています。



2 山形市少年自然の家の概要

(1) 対象施設の概要

○ 施設名

山形市少年自然の家

○ 住所

山形県東村山郡山辺町大字畑谷字板橋3725番地

○ 構成施設

(1) 本館施設（昭和54年開設）：敷地面積 約100,500㎡

本館（管理棟、宿泊棟、体育棟）、生活体験の家、野外施設、荒沼キャンプ場

(2) 野外活動センター施設（平成8年開設）：敷地面積 約213,000㎡

サービスセンター、野外ステージ、野外施設、駐車場、板橋沼キャンプ場

○ 土地の所有者

(1) 山形市：約212,000㎡

(2) 作谷沢振興会：約79,500㎡

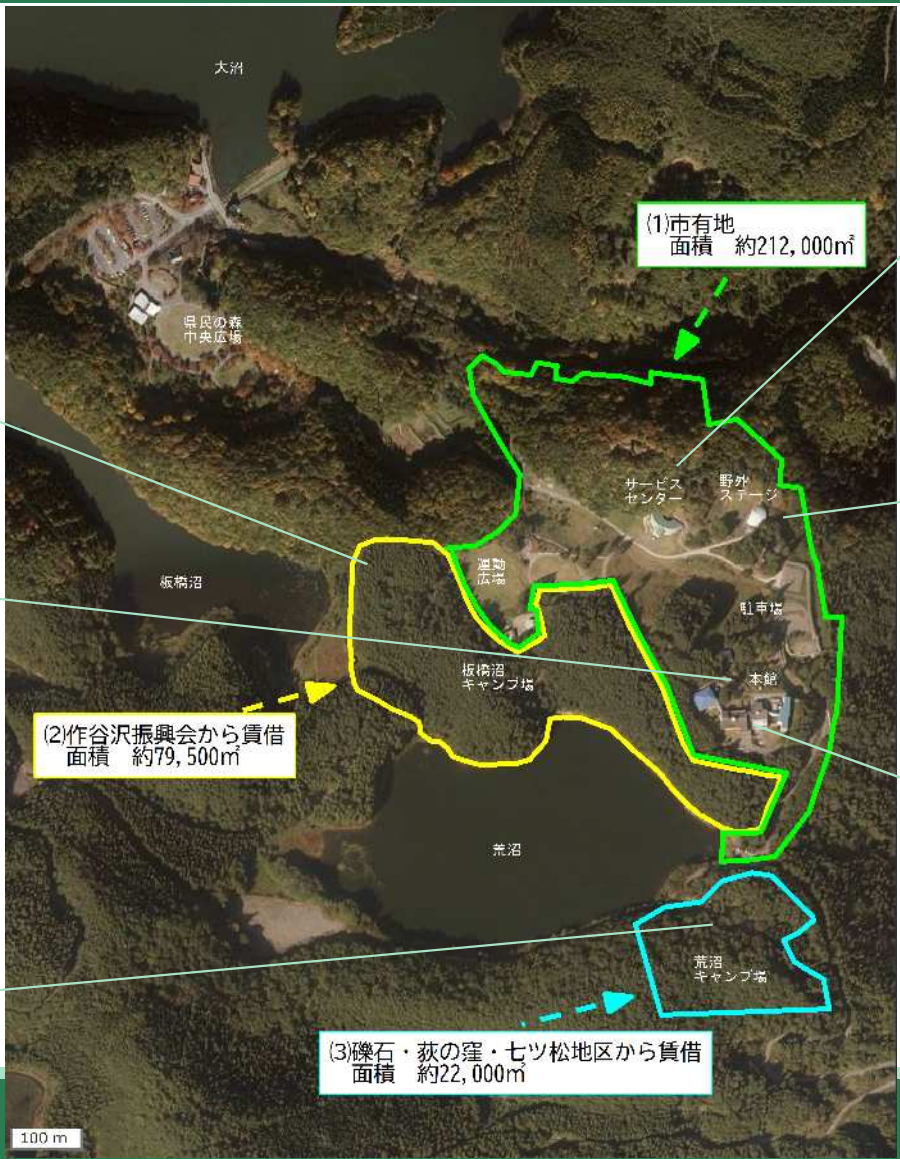
(3) 礪石・荻の窪・七ツ松地区：約22,000㎡



山形市少年自然の家

2 山形市少年自然の家概要

(1) 対象施設の概要



出典：国土地理院の地理院地図写真を加工して作成

2 山形市少年自然の家の概要

(2) 対象施設の現状

○ 設置目的及び事業等

次の事業等を通し、子ども達が自然に親しみながら仲間とともに「直接体験活動」を安全かつ計画的に実施できる社会教育施設。

- ① 動植物、地質、天体等の自然観察、自然愛護その他自然に親しむ事業
- ② 登山、キャンプ、ハイキング、オリエンテーリングその他野外活動事業
- ③ 自然の中での集団宿泊生活の事業
- ④ 少年団体指導者の研修事業
- ⑤ その他少年の健全育成に関する事業

○ 運営主体

山形市

○ 職員体制

21人（正職員6人、会計年度任用職員15人）



山形市少年自然の家

2 山形市少年自然の家の概要

(3) 対象施設の利用状況

○ 主な利用内容

種別	主な利用内容
① 小学校	4・5年生の体験活動を目的とした宿泊学習、理科における星の学習（プラネタリウム） 1・2年生の生活科における自然観察、生活科・体育における雪遊び 全校生の縦割り班活動による体験活動
② 中学校	1年生の学級づくりのための宿泊学習 市内学校の特別支援学級による合同体験活動
③ 子ども会	自然体験宿泊活動、プラネタリウム鑑賞
④ 主催事業	自然体験宿泊活動、植物観察、昆虫観察、プラネタリウム鑑賞、そば打ち体験、 指導者講習会
⑤ その他	未就学児（幼稚園、保育園）のプラネタリウム鑑賞、雪遊び 公民館事業の炊飯活動、プラネタリウム鑑賞 放課後児童クラブの自然体験、宿泊活動 一般市民の自然観察、雪遊び 適応教室「風」による体験活動

2 山形市少年自然の家の概要

(3) 対象施設の利用状況

○ 延べ利用者数の推移

	①小学校	②中学校	③子ども会	④主催事業	⑤その他	合計	前年比増減
H25	27,754	7,106	1,844	2,312	15,575	54,591	▲4,752
H26	25,479	5,553	1,169	2,055	15,057	49,313	▲5,278
H27	25,600	7,359	1,256	2,002	13,201	49,418	105
H28	27,301	5,310	852	2,448	12,255	48,166	▲1,252
H29	23,585	6,105	884	2,190	14,050	46,814	▲1,352
H30	22,838	701	943	2,100	13,845	40,427	▲6,387
R1	21,890	5,484	766	2,524	10,126	40,790	363
R2	11,176	20	204	1,437	12,249	25,086	▲15,704
R3	11,845	504	93	1,297	12,113	25,852	766
R4	15,929	806	252	1,616	12,200	30,803	4,951

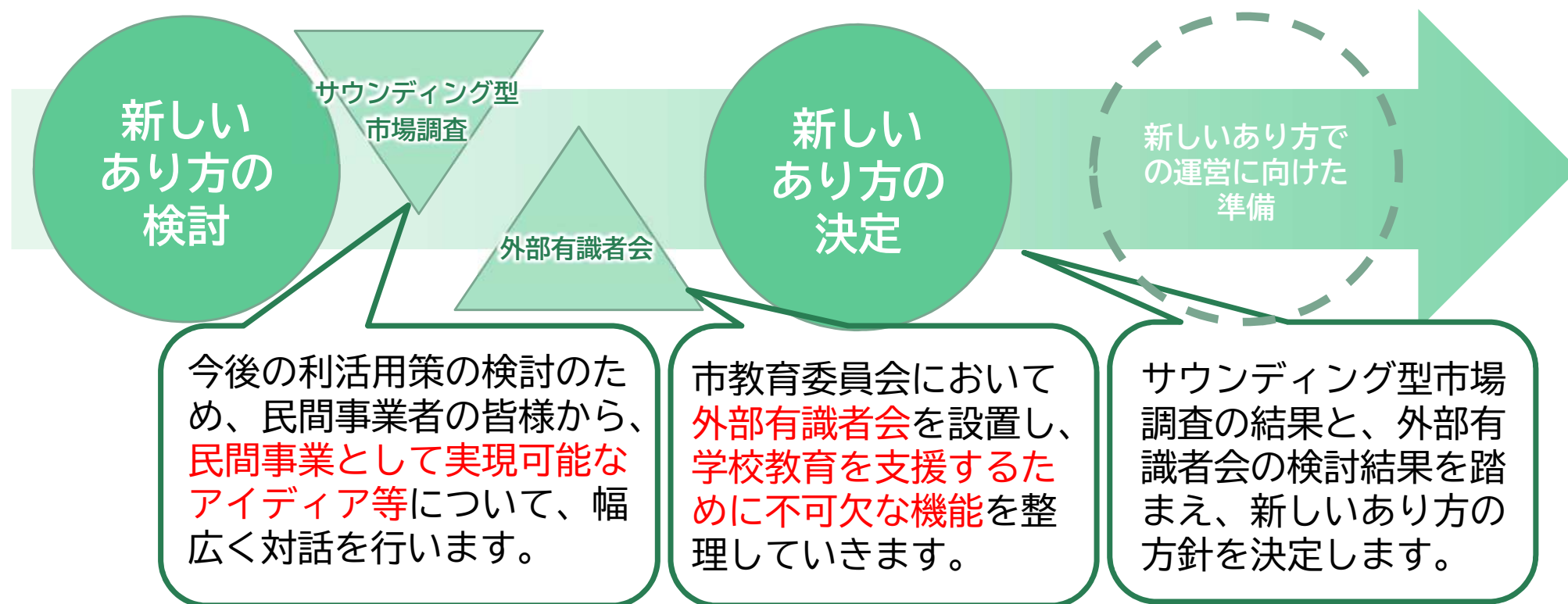
※H30年度は、本館水道設備改修に伴う利用制限による利用者減

R2～R4年度は、新型コロナウイルスの影響に伴う利用制限による利用者減

3 サウンディング型市場調査

(1) 新しいあり方の検討におけるサウンディング型市場調査の位置付け

サウンディング型市場調査とは、公的不動産の利活用や公共事業への民間活力の活用等の検討に当たり、民間事業者の皆様から広く意見や提案を求めることにより、より効果的な利活用策を検討するために行う市場調査のことです。



3 サウンディング型市場調査

(2) 調査の内容

○ コンセプト

これまで少年自然の家が主に担ってきた学校教育を支援するために不可欠な機能を生かしながら、民間活力の活用等により、利用者層の拡大を実現し、新たなニーズの創出など地域活性化にも資する形で、施設の有効利用と持続可能な運営等を行っていく。

○ 提案に求める条件

- ・ 周辺の自然環境に配慮すること。
- ・ 地元の住民も施設の維持管理等に携わっていることから、引き続き地元住民の雇用等の関わりを維持し、地域活性化に資するものとする。
- ・ 関連する法令を遵守すること。また、市の関連する計画や方針等の内容を考慮すること。

○ 利活用における主な留意点

- ・ 荒沼は、地元団体から湖面利用権を賃借し、専用の「いかだ」を使用したアクティビティでのみ使用しています。その他の方法での使用を検討する場合は、別途地元との協議が必要となります。
- ・ 飲用水は、2か所の水源から取水し、本館の飲用水用ろ過設備でろ過した上で各施設へ送水して使用しています。また排水は、2か所の合併浄化槽で処理し、処理水を富神川に放流しています。なお、川への放流となるため、石鹼等の利用を一部制限しています。

3 サウンディング型市場調査

(3) 今後のスケジュール

○ 質問と回答

- ・方法 : メールにて質問事項を提出 (任意様式)
- ・メールの件名 : 「少年自然の家サウンディング型市場調査 質問」
- ・提出期限 : 令和5年7月21日 (金) 午後5時まで



○ 対話への参加申込

- ・方法 : 様式2「エントリーシート (対話)」をメールにて送付。
- ・メールの件名 : 「少年自然の家サウンディング型市場調査 対話参加申込」
- ・申込期限 : 令和5年8月10日 (木) 午後5時まで



○ ヒアリングシートの提出

- ・方法 : 様式3「ヒアリングシート」をメールにて送付。
- ・メールの件名 : 「少年自然の家サウンディング型市場調査 ヒアリングシート提出」
※提案の補足資料はPower Point (A4横) でお願ひします。
- ・提出期限 : 対話の5営業日前まで

3 参考情報（周辺施設）



出典：国土地理院の地理院地図写真を加工して作成

3 参考情報（周辺施設）

○ 元 山形市立双葉小学校（平成23年度末に閉校）

所在地：山形県山形市大字門伝字荻の窪2836番地
（山形市少年自然の家から車で約8分）

市が、地域住民を中心とする団体に委託して施設の維持管理を行っているほか、そば教室などの地域でのイベントの際に活用しています。



4 終わりに

新しいあり方の方向性は、まだ白紙の状態です。
対象施設の利活用が、地域の活性化につながるよう、
皆様のノウハウ、創意工夫を生かしたアイデアを是非ご提案ください。
皆様のご参加をお待ちしています！

《連絡先（各種申込先等）》

山形市 企画調整部 企画調整課 プロジェクト推進係

担当 : 佐藤、辻

住所 : 山形県山形市旅籠町2-3-25

電話 : 023-641-1212 (内線221, 222)

メール : kikaku@city.yamagata-yamagata.lg.jp